

千代田俳句同好会

月光に李白の詩など口遊む
雨上り西の三日月艶めけり
青春の真つただ中や蝉時雨
渾身といふ声みんみん蝉歌ふ
七五回確と迎へる終戦忌

紫陽花俳句会

風鈴の余韻のこして南部鉄
心太みやげ物屋に人の無く
SLのけむらせてゆく合歓の花
雨あがり蝉一段と声高し

出島短歌会

七月の稲田かすかに白々と穂先撫でつつ風わたりゆく
日のささぬうちに畑のひと仕事ほしやれぬれる汗も爽快
山際の基地のあたりにしろしろと花ふきすすふ夏のまさかり
孫たちが特別われを誉める日は小使値上げ下心あり

投稿作品

強情張りと言われた日々が懐しいこの齢になりアルマジロの如く
筑波嶺にゆり咲く頃はまなまらぬ登り降りも脚とられおり
会いたいが叶わぬコロナメールでね楽しい会話家族の笑顔
そと咲き静かに散るも人の世か狭度に咲くや秋海帯
時折りに発行される同人誌送られし人親しみて読む
生きるごと人とコロナが凌駕しつ変異進化の鎬を削る
避暑期去りテニスコートにボール磨ち
杖右手ゆらく煙の迎へ盆

榊原清志
桜井愛子
桜井筑娃
中島暉子
萩原初枝

飯田 功
久保慶悦子
萩原とし子
福田宏通

仲谷香代子
薬師寺玲子
岡田恭子
名倉親子

菅谷味子
中島良平
横井正子
沼野はつ子
石塚 清
近藤善康
竹村啓子
いいたいさを

▶投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。10月2日までに情報広報課(〒300-0192 大和田562番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。(内容を確認する場合がありますので、電話番号もご記載ください)
また、音声読み上げに対応するため、漢字にはふりがなの記載をお願いします。

健康・健幸
応援宣言!

かすみがうら
健康増進「コラム」



新型コロナウイルスの感染が広がる今こそ、災害への備えを家族で考えておきましょう

9月は、台風が多くなる季節です。新型コロナウイルス感染症の終息への出口が見えないなか、自然災害が重なること「複合災害」が起こります。自宅にいる時間が増えた今こそ、できることに目を向けてみましょう。

①総合防災マップや避難先の確認
まずは、総合防災マップを確かめ、身の回りの災害リスクを確認しましょう。

②非常時用持ち出し袋の確認
非常時用持ち出し袋にマスクや体温計、衛生用品なども追加して入れておきましょう。

③発生後の集合場所の確認
「〇〇小学校の校庭」などと具体的に決めておきましょう。

④家族同士の連絡手段の確認
家族同士の連絡手段は、携帯電話以外にも考えておくべきです。公衆電話は、停電に強く、災害時も通信規制を受けず電話ができます。公衆電話の場所を散歩した時などに確認しておきましょう。

⑤非常食の味の確認
災害発生時には、「非常食の味になじめず食べられなかった」などの声もあります。各自の口に合うものを見つけたら、ぜひ、在宅時に試食してみてください。

⑥家具配置の確認
地震では倒れた家具で死傷することも少なくありません。夜中に地震が起きた場合に備え、寝室で横になり部屋を見渡して危険を想定してみてください。押し開ける扉の先に家具があると、地震で倒れて開かなくなることが想定されます。家にある時間が多い今、家具の配置を変えるチャンスです。

健康づくり推進課
TEL 030(800)2312

まちのわだい
夏だ、水遊びだ

夏だ、水遊びだ

8月、稲吉児童館では、新型コロナウイルス感染症の影響や猛暑により、外で遊ぶことがなかなかできなかった子どもたちのために、涼みながらたくさん遊んでもらえるよう「水遊び」を行いました。ペットボトルのシャワーや水鉄砲で水をかけあったり、大きな水風船を投げたり、子どもたちは水遊びに夢中。一緒に来館した友達と、服がずぶ濡れになるまで、遊んでいました。ずぶ濡れになっても、元気いっぱい笑顔に夏を感じることができました。



↑水遊びに夢中の子どもたち

高 第1回目 定例会
校生会の活動スタート

7月26日、働く女性の家で第1回目の「高校生会定例会」が行われました。新1年生会員の6人を迎え、自己紹介やレクリエーションなどで親睦を深めていました。昨年度の高校生会では、「ふれあい生涯学習フェア」でおけ屋敷の運営や、『みんなの夏まつり』と『牛渡まつり』でタピオカドリンク店の出店など、市主催の行事や子ども会の行事に協力。今年度は、新型コロナウイルスの影響のなかで、「いま自分に何ができるか」を考え、いろいろな企画に積極的に挑戦していくとの活動方針が決められました。



↑新規会員を迎え、活動スタートした高校生会

↓親子共同の丸太アート工作に自然とあふれる笑顔



親子参加型の夏休み工作講座
自然の恵みで工作講座

8月23日、雪入ふれあいの里公園で親子参加型の「夏休み工作講座」が開講されました。今年の講座は、間伐材を利用した鳥アクセサリーやバードコール、丸太アートを制作しました。雪入の風景を眺めながら、自然のものを使った自分のオリジナル作品を完成させていました。参加した親子は、「自然のものを使って工作などしないので、非常に楽しかった。娘も楽しんでたようだが、私自身も集中して楽しめました(母)」「いろいろな工作ができて楽しかった。出来上がりもばっちり(娘)」と話してくれました。

↓鳥などに古代米を食べられないように手作りかかしを並べる



す 親子古代米づくり教室
くすくと成長する古代米

8月2日、歴史博物館で親子古代米づくり教室の「かかしづくり」が行われました。5月に田植えした古代米は、くすくすと成長しています。今回は、竹とわらを使い、持ち寄った古着を着させるかかしづくりを体験していました。また、顔には木綿のさらし布をかぶせて、思い思いの表情を描き、個性豊かなかかしを完成させていました。これから1カ月、田伏地区の古代米の田んぼには、色とりどりのかかしが並べられ、見張り役として活躍してくれることでしょう。